

戦略1 ともにつくる協働のまちづくり

計画期間 平成26年度～平成30年度

主管部局 生活環境部 関係部局 企画政策部、教育部

めざす姿

- 市民や各種団体など多様な団体が、魅力ある協働のまちづくりに取り組んでいます。
- 大学や大学生と連携した、江別市ならではのまちづくりが進んでいます。

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

※（ ）は他戦略との重複分

名 称	決算額								予算額	
	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		H30年度	
1 A 多様な主体が協働するまちづくり	5,643	千円	3,751	千円	4,404	千円	3,922	千円	4,038	千円
1 B 大学が活躍するまちづくり	2,920	千円	3,581	千円	8,163	千円	7,801	千円	6,962	千円
計	8,563	千円	7,332	千円	12,567	千円	11,723	千円	11,000	千円

※H27・28年度は完了した事業の金額も含む

戦略プロジェクト

【プロジェクトの目標】

市民、自治会、市民活動団体、企業、大学、行政など多様な主体や高齢者をはじめとする様々な世代が、それぞれの得意分野や豊かな経験・知識等を活かし協働するためのネットワークづくり、組織づくりを促進し、協働によるまちづくり・人づくりに取り組むことで、協働の気運をさらに高め、江別市における協働推進の環境を整備します。

◆成果指標1 A-1 協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
23.1	21.7	24.4	23.6	21.7		35.0

◆成果指標1 A-2 協働のまちづくりに参加している（したことがある）市民割合（単位：％）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
38.7	36.8	40.3	38.4	36.1		50.0

■成果動向（評価）

協働のまちづくり活動支援事業において、市民活動団体が実施した事業に対して事業費の一部を補助したほか、自治基本条例のポイントを分かりやすく解説したリーフレットを大学生との協働により新たに作成・配布するなど、個別事業はほぼ予定どおり実施しましたが、成果指標は1 A-1・1 A-2ともに初期値からほぼ横ばいで推移しています。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

協働のまちづくりを進めるため、協働についての意識啓発や市民活動団体に関する情報提供、まちづくりにおける市民参加の機会の充実、出前講座などを継続していきます。
また、自治会においては、担い手を育成するためのセミナーや女性の活動を支援するための意見交換会を活性化・充実させることにより、協働を担う人材の発掘・育成につながる事業を重点的に実施していきます。

◇推進プログラム1A-① 協働によるまちづくり

<課題>

- 自治基本条例の認知度の向上
- 市民参加に関する意識の向上
- 協働に関する意識の向上

<取組の概要>

- ・大学生との協働により、自治基本条例啓発リーフレットを作成・配布
- ・市民参加制度の周知・公表
- ・小学生・中学生に向けた協働意識の啓発、併せて保護者への波及効果

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
協働を知ってもらふ啓発事業	啓発を受けた小学生	1,000 人	908 人	— 人	H30から指標を変更
	啓発を受けた中学生	1,059 人	1,039 人	— 人	
	協働の理解が進んだ学校の割合	—	—	90 %	
	事業費	1,018 千円	714 千円	710 千円	

◇推進プログラム1A-② 協働を担う人づくり

<課題>

- 高齢者の知恵や経験の世代間継承
- 自治会加入率の向上
- 活動意識の向上
- 自治会役員の担い手となる人材の育成
- 自治会や市民活動団体との協働事業の伸展

<取組の概要>

- ・協働を担う人材を育成するためのセミナー等を開催
- ・自治会加入率の向上や活動意識の向上に向けたセミナー等を開催
- ・市民活動の担い手を育成するためのセミナー等を開催

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
市民協働推進事業	市民協働推進事業で実施した協働事業への参加者数	328 人	450 人	500 人	
	市民協働推進事業で実施した協働事業への参加団体数	69 団体	98 団体	50 団体	
	事業費	3,244 千円	3,144 千円	3,245 千円	
自治会活動等支援事業	セミナー参加者数	74 人	40 人	—	H30から指標を変更
	セミナーが今後の地域活動に役立つと思った人の割合	—	—	80 %	
	事業費	142 千円	64 千円	83 千円	

◇推進プログラム1A-③ 協働に取り組むための組織づくり

<課題>

- 市民協働に関する情報発信を強化
- 自治会と市民活動団体双方の情報共有

<取組の概要>

- ・自治会活動と市民活動団体の協働事業を推進するため、自治会活動及び市民協働に関するホームページを整備
- ・自治会等に対する市民活動団体による出前講座情報を整備

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
市民協働推進事業 【重複】1A-②	市民協働推進事業で実施した協働事業への参加者数	328 人	450 人	500 人	
	市民協働推進事業で実施した協働事業への参加団体数	69 団体	98 団体	50 団体	
	事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

戦略プロジェクト

【プロジェクトの目標】

江別市の特性として市内に4つの大学があり、これらの大学及び学生が、それぞれの得意分野を活かして、地域課題の解決やまちの活性化のために、様々な分野で活躍するまちづくりを進めます。

◆成果指標1B-1 大学及び学生等との連携事業数（単位：件）

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
28	32	34	34	37		35

■成果動向（評価）

成果指標1B-1の連携事業数については、順調に増加しているほか、学生地域定着自治体連携事業の中でも、多様な連携を行ってきたところです。今後も、連携事業数の増加を図るためには、個別の事業により構築された関係性を継続させていくことが必要であると考えます。

■改善案（次年度へ向けた展開・課題・推進方向性）

従前から継続している、大学教員の調査研究や学生の地域活動に関する事業報告会などを通じて、その成果の浸透を図るほか、学生地域定着自治体連携事業等を通じて生まれる大学・学生と企業や地域住民とのつながりを支援することで、多様な連携の確立に取り組みます。

◇推進プログラム1B-① 大学の得意分野を活かした地域の活性化

<課題>

- 大学と地域、企業との連携促進
- 大学連携補助金を利用した研究の有効活用

<取組の概要>

- ・地域と大学との連携を促すため、大学の教員が地域（自治会や企業等）で行う出前講座の実施を支援
- ・研究成果を市政に反映させるため、未来戦略や市政の課題に関する研究に対し助成

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
大学版出前講座支援事業	出前講座参加者数	248人	289人	100人	
	事業費	40千円	0千円	35千円	
大学連携調査研究助成事業	補助事業本数	5件	5件	5件	
	事業費	2,721千円	2,893千円	2,839千円	

◇推進プログラム1B-② 知的資源である大学が持つ力を活かした教育・人材育成の促進

<課題>

- 地域を創造する人材を育成するための多様な学習機会の提供
- 大学や関係団体との連携による事業内容の充実と周知方法の工夫

<取組の概要>

- ・ふるさと江別塾や大学自主公開講座等を「えべつ市民カレッジ」として総合的に情報提供
- ・学びの成果を実感でき、市民の参加意欲の向上が図られるための方策を実施
- ・自治会回覧、広報えべつ等周知方法の拡充

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
えべつ市民カレッジ（四大学等連携生涯学習講座）事業	えべつ市民カレッジ講座数	120講座	155講座	160講座	
	事業費	1,458千円	1,208千円	201千円	

◇推進プログラム1B-③ 学生の力を活かしたまちづくり

<課題>

- 学生の力を活かしたまちづくりの促進
- 地域イベントへの学生の参加
- 広域的視点による市内大学生の地域定着

<取組の概要>

- ・学生のまちづくりに資する活動への支援、補助等
- ・学生のボランティア活動への支援
- ・市内大学及び他自治体や関係団体との連携により、地域、企業等で行う地域活動と学生をマッチング

事務事業	指 標	H28年度	H29年度	H30年度(予算)	備 考
大学連携学生地域活動支援事業	補助事業本数	6 件	4 件	7 件	H30から指標を追加
	補助事業申請件数	—	—	8 件	
	事業費	327 千円	297 千円	425 千円	
学生地域定着自治体連携事業	市内の地域活動等に参加した延べ学生数	482 人	569 人	550 人	H30から指標を追加
	参加者のうち市内へ就業・定住した者の人数	—	—	1 人	
	事業費	3,617 千円	3,403 千円	3,462 千円	